

春日井市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農業は、温暖な気候や豊かな水等に恵まれ、水稻のほか、北部の丘陵地において、もも、ぶどう、かき等の果樹やサボテンが生産されている。しかしながら、近年は都市化の進展に伴う農家や農地の減少、農業従事者の高齢化、後継者の不足等の課題を抱えている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

米については、作付品種が「あいちのかおり」、「あさひの夢」に集約されており、地元作物の地産地消の取り組みとして、農協の営農生活センター及び産直施設での販売促進を図る。

(2) 非主食用米（加工用米）

主食用米の需要減が見込まれる中、主食用米の作付けから加工用米の作付けへと転換を図る。

(3) 高収益作物（野菜等）

産地交付金を活用し、地域振興作物である野菜等の作付けを奨励する。

(4) 不作付地の解消

農地所有適格法人の新規参入を促し、農業従事者の高齢化等に伴い増加する不作付地を貸し付け、その解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	236	230	230
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米	3.6	4	4
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興 作物	30	35	40
野菜	30	35	40

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	高収益作物 (野菜等)	高収益作物支援	作付面積	(29 年度) 30ha	(32 年度) 40ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり